

マクロの初歩（１）

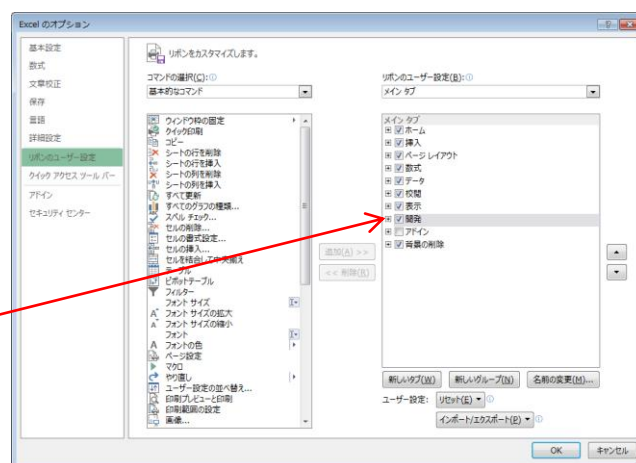
「マクロ」というのは、作業を自動的に実行させる機能で、エクセルのもっとも優れた部分。「エクセルで表を作成したり、関数で合計を計算させたりできるようになった。マクロにもチャレンジしてみたい。」そんなかたのための、入り口用テキストです。

1. 準備（１）

「マクロ」に関するボタンは、「表示」タブの中にあります。しかし、いちいち▼から選ぶのはめんどろ。そこで、「開発」タブを表示させておきましょう。

①エクセルで新規ブックを開きます。

②「ファイル」タブ→「オプション」→「リボンのユーザー設定」項目で、「開発」にチェックして「OK」。



③「開発」タブが現れます。「コード」グループに、マクロ関係で使用するボタンがまとまっています。



2. 準備（２）

右図のような表を、作成してください。（数値は、適当でかまいません。）

	A	B	C	D	E
1	店舗別売上(単位:千円)				
2					
3	店名	4月	5月	6月	四半期計
4	二俣川	812	95	592	
5	相模大野	371	851	53	
6	相武台前	161	328	897	
7	戸塚	173	629	425	
8					

3. マクロの記録

「表の、指定した部分に、行を挿入する」という作業を、自動化してみましょう。

①まず、作業手順を確認します。4行目（二俣川店）と5行目（相模大野店）の間に、行を挿入してみましょう。5行目のいずれかのセルを選択し、「ホーム」タブ→「挿入▼」→「シートの行を挿入」。右図のようになれば、OK。

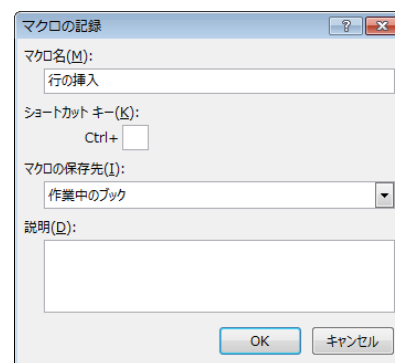
	A	B	C	D	E
1	店舗別売上(単位:千円)				
2					
3	店名	4月	5月	6月	四半期計
4	二俣川	812	95	592	
5					
6	相模大野	371	851	53	
7	相武台前	161	328	897	
8	戸塚	173	629	425	
9					

Excel113

②①の作業を、マクロに記録します。6行目（相模大野店）と7行目（相武台前店）の間に行を挿入する作業を、記録します。

- ・7行目のいずれかのセルを選択し…
- ・「開発」タブ→「マクロの記録」。
- ・「マクロ名」にわかりやすい名前（「行の挿入」など）をつけて、「OK」。
- ・①と同じように、行挿入をする。
- ・「開発」タブ→「記録終了」。

どこにも見えませんが、これでマクロが記録されています。

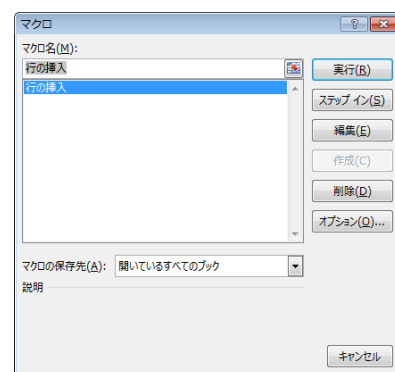


	A	B	C	D	E
1	店舗別売上(単位:千円)				
2					
3	店名	4月	5月	6月	四半期計
4	二俣川	812	95	592	
5					
6	相模大野	371	851	53	
7					
8	相武台前	161	328	897	
9	戸塚	173	629	425	

4. マクロの実行

3で作成したマクロを使って、相武台前店と戸塚店の間に、行を挿入してみましょう。

- ① 9行目のいずれかのセルを選択して、「開発」タブ→「マクロ」。
- ② 3で作成したマクロ名（「行の挿入」など）を選んで、「実行」。



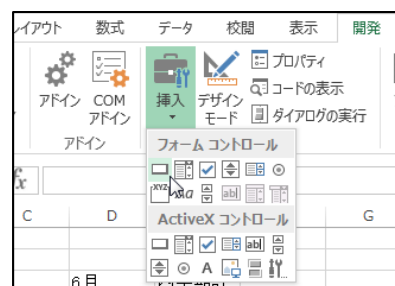
行が挿入されましたか。

	A	B	C	D	E
1	店舗別売上(単位:千円)				
2					
3	店名	4月	5月	6月	四半期計
4	二俣川	812	95	592	
5					
6	相模大野	371	851	53	
7					
8	相武台前	161	328	897	
9					
10	戸塚	173	629	425	

5. マクロのボタン化

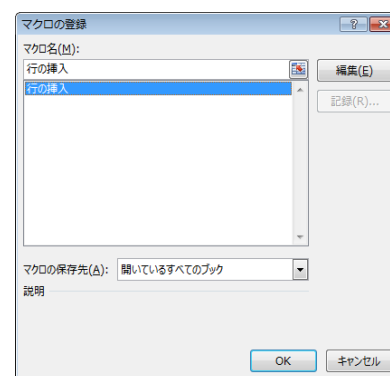
いちいち、「開発」タブからマクロを指定するのは、めんどろですね。シート上にボタンを作成しちゃいましょう。

- ① 「開発」タブ→「挿入」で、フォームコントロールの「ボタン」をクリック。



Excel113

- ②シート内の1～3行目の空いているところをドラッグして、ボタンを作成します。
- ③自動的に「マクロの登録」ウィンドウが出るので、3で作成したマクロ名を指定して、「OK」。
- ④ボタンに「ボタン 1」などと入力されているので、右クリック→「テキストの編集」で、「行の挿入」と書き換えます。
- ⑤ボタン以外の適当なところをクリックして、選択を解除します。



これで、ボタンにマクロが登録されました。
行を挿入したいところを選択したら、このボタンを押すだけ。

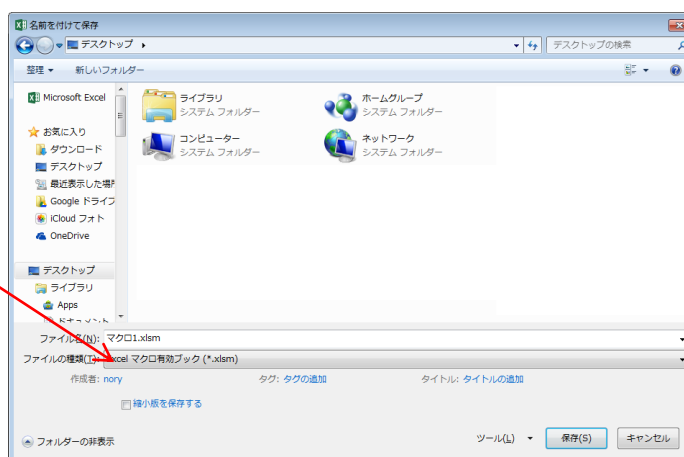


※「ボタン名を変えたい」「ボタンを削除したい」というときは、ボタンを右クリックしてください。ボタンを選択しようと左クリックしても、マクロが実行されてしまい、選択できません。

6. ファイルの保存

マクロ付ブックは、ふつうの形式で保存することができません。

「ファイル」タブ→「上書き保存」(または「名前を付けて保存」)で、「ファイルの種類」を「Excel マクロ有効ブック」にして、保存します。ファイルの拡張子は「~.xlsm」になります。



〔練習問題〕

(1) 表内の適当なところを選択して、ボタンをクリックしてみましょう。行の挿入がされますか。

(2) 表内に、空白行がいっぱい。「行の削除」マクロを記録し、ボタン化しましょう。

①作業手順を、確認します。空白行のいずれかのセルを選択し、「ホーム」タブ→「削除▼」→「シートの行を削除」。

②3と同様にして、「行を削除」マクロを記録してください。

③4と同様に、②で作成したマクロが正しく動作するか、確認してみましょう。

④5と同様に、「行の削除」ボタンを作成し、②で作成したマクロを登録してください。

(3) ボタンを使って、好きな位置に、行を挿入したり削除したりできるか、確認してみましょう。